

2025(令和7)年度

ソーシャルワーク実践力を鍛え、磨き上げる研修【SWS高度化(魅力発見)課程】

「鍛える」コース 開催要綱

住民と専門職同士が、人間の尊厳を守り、地域の支援力を高める支援のネットワークを地域社会に形成することにより、地域共生社会・地域包括ケアを深化させる包括的な体制づくりをめざし、「対話型演習」タイプの新しいトレーニングを行い、地域福祉推進専門職のソーシャルワーク実践力を高度化し、その魅力を発見する研修です。

1. 開催趣旨と到達目標

児童、障害、高齢、生活困窮、地域の各福祉分野で活躍しているソーシャルワーク実践者の多くは、複合課題、多機関協働による支援、他分野との連携、地域住民との協働の必要性を実感し、自組織と多機関とのかかわり、クライアント・その家族と地域社会のかかわりなど、様々な支援力のスキル向上を必要としています。

本研修は、全社協中央福祉学院が提案する、ソーシャルワーク実践力を鍛え、磨く新しいトレーニングの機会として、どの分野においても共通する知識、技術、態度を身につけ、社会福祉法人、行政、様々な機関で、人間の尊厳を守り、地域社会で活躍するソーシャルワーク実践家を育成することを目的にしています。この人材育成課程は、所属する組織のソーシャルワーク実践力を格段に向上させることにもつながるよう、以下を到達目標に掲げ、開講します。

【到達目標】

- (1) 地域共生社会を実現する包括的支援体制について理解し、展開できる
- (2) 制度を超えたソーシャルワーク実践と、多分野と連携・協働したソーシャルデザインを併せて展開できる
- (3) 既成概念を疑い、頭を切り替えることができる

※本研修会にご自身の到達目標を設定し、自己点検を積み重ねながら、複数年かけて受講計画されることを推奨しています。

2. 主催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院（全社協福祉ビジョン推進事業）

3. 受講対象(例示。以下に限らず広く実践家を対象)

- 社会福祉施設、社会福祉協議会、行政(福祉事務所、児童相談所、こども家庭センター、基幹型相談支援事業所等)、学校、医療機関、更生保護など様々な分野でソーシャルワーク業務を担う現任者や管理職員

※ 昨年度は、重層型支援体制整備事業、生活困窮者自立支援事業、生活福祉資金貸付事業・特例貸付借受人フォローアップ、生活保護、日常生活自立支援事業、成年後見、地域包括支援センター、虐待・DV支援等にかかわる業務を担う方、スクールソーシャルワーカー等様々な機関に所属する方々が主体的に参加されました。

4. 定 員

各回 40 名(対話型演習のため、少人数で実施します。最少催行人数 15 名)

5. 日 程

下記、秋、冬日程をご用意しております(※プログラムは同一です)

【秋日程】 2025(令和7)年 10 月 14 日(火)～16 日(木)

【冬日程】 2026(令和8)年 2 月 13 日(金)～15 日(日)

6. 会 場

全国社会福祉協議会・中央福祉学院(口フォス湘南)

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

7. 講 師

山下 興一郎

全国社会福祉協議会・中央福祉学院 主任教授

〔講師紹介〕 1992 年 4 月全社協事務局入局。児童福祉部、地域福祉部、高年福祉部、企画部、政策企画部広報室長を経て、2013 年4月淑徳大学・大学准教授。2023年4月より現職。35 年間、大学や現場(生活保護、困窮、児童、老人、障害、地域福祉領域)のケース検討会やグループスーパービジョンに参加した経験を活かして本研修を企画。全国各地でケース検討やグループスーパービジョンの方法、奥行き、支援の有効性をライブで届けている。

8. プログラム

プログラムは、受講生の関心に寄せながら、朝から夜まで、事例を用いた演習、対話型トレーニング、ケースカンファレンス(事例検討会)、グループスーパービジョン(自らの資質の向上を図る)をくりかえし、自らの職場とクライアント(利用者や家族)との援助関係の形成や、地域資源の調整・開発について探求していきます。必要な知識、技術に関する講義は適宜組み込み、以下の概要で展開していきます。

【プログラム概要】

◆プログラムの趣旨

- 個や家族の支援のみならず、地域生活課題の解決に向けた支援関係機関等のコーディネーターとしての役割も果たせ、後進を育成することができるソーシャルワーカーとなることを目的とする。
- 全世代型社会保障構築会議*にみる「ソーシャルワーカー等の確保・育成や多様な主体による地域づくりの推進」との関連(こども・子育て支援、介護制度と地域共生社会の実現との関連、ソーシャルワーカー等の確保・育成の理解)を理解し、全世代型のソーシャルワーカーとして成長する。

*『全世代型社会保障構築会議報告書～全世代で支え合い、人口減少・超高齢社会の課題を克服する～』(令和 4 年 12 月 16 日)

◆日程 ・ 詳しくは受講決定後、シラバス(到達目標等含む)を提供します。

1 日目	10 時 00 分～21 時 30 分(途中、休憩・食事時間を含む)
	内容：開会・導入講義、対話型演習、ケースカンファレンス演習等
2 日目	9 時 00 分～21 時 00 分(途中、休憩・食事時間(交流会★)を含む)
	内容：ケースカンファレンス演習、グループスーパービジョン演習等
3 日目	9 時 00 分～14 時 30 分(途中、休憩・食事時間を含む)
	内容：グループスーパービジョン演習、自己点検・評価、課題設定等

★ 交流会は、2日目夕食を兼ねて開催いたします。(要別途申込/18 時～19 時 30 分予定)

9. 受講料 39,600 円(税込)

※1 上記に旅費・宿泊費・食事代は含まれません。

※2 研修初日の前日 17 時までキャンセルのご連絡をいただいた場合は、振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。資料の送付は行いません。

10. 申込方法

(1)研修参加の申込

次の QR コード・URL の登録フォームからメールアドレスを登録してください。

登録後、届いた URL から詳細の申込内容を記入し、送信してください。

<https://forms.gle/eLkjsfYs9NBP8qs99>



(2)ご宿泊・お食事(2 日目夜の交流会含む)の申込

ロフォス湘南のご宿泊等の案内は、下記の中央福祉学院ホームページからダウンロードしてください。

初日・2 日目は 21 時以降までのプログラムですので、ロフォス湘南にご宿泊されることをご案内します。

<https://www.gakuin.gr.jp/training/social-2/>

11. 申込受付(開始日と締切)、受講決定通知と事前課題(先着順・定員になり次第締切)

(1)申込受付(受付開始日と締切)

秋日程 2025(令和 7)年 7 月10日～9 月 19 日(金)

冬日程 2025(令和 7)年 7 月10日～2026(令和 8)年 1 月 13 日(火)

(2)受講決定通知

受講申込後、2 週間以内にご連絡いたします。

受講決定のご連絡の際に、ご参加にあたり事前にお取り組みいただく「事前課題」について、併せてご連絡いたします。

ソーシャルワーク実践力を鍛え、磨き上げる研修「磨くコース」のご案内

日時 2026(令和8)年 2 月 20 日(金)～22 日(日)

会場 中央福祉学院(ロフォス湘南)

内容 福祉サービス等の支援従事者への指導、スーパービジョンを行う方(社会福祉士、相談支援員、MSW、保健師、看護師、心理士等)を主な対象として、実践・模擬事例の研究を通じてスーパービジョンの能力を磨きます。

募集 10 月頃に募集開始予定です。

【問合せ先】

〔研修内容・研修参加申込に関するお問い合わせ先〕

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 (担当:山口、高島、副部長:玉置)

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356 MAIL: z-gakuin@shakyo.or.jp